

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2012-527438(P2012-527438A)

【公表日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-046

【出願番号】特願2012-511329(P2012-511329)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4458 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 211/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4458

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 D 211/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年6月3日(2014.6.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペルヘキシリン、またはこの薬学的に許容される塩を含む、H f n E F (正常左室駆出率を伴う心不全) 治療薬。

【請求項2】

前記ペルヘキシリンが薬学的に許容される塩の形態である、請求項1に記載のH f n E F 治療薬。

【請求項3】

前記ペルヘキシリンがマレイン酸塩の形態である、請求項2に記載のH f n E F 治療薬。

【請求項4】

前記正常左室駆出率を伴う心不全が50%以上の左室駆出率によって特徴付けられる、
請求項1~3のいずれか1項に記載のH f n E F 治療薬。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 3】

本発明の実施形態において、ペルヘキシリンは塩の形態、好ましくはマレイン酸塩の形

態で存在する。ペルヘキシリソは、治療的な、しかし非毒性の血漿ペルヘキシリソレベルを達成するために合わせた投与量で用いることができる (Kennedy JA, Ki o s o g l o u s AJ, Murphy GA, Pelle MA, Horowitz J D. "Effect of perhexiline and oxfenicine on myocardial function and metabolism during low-flow ischemia/reperfusion in the isolated rat heart", J Cardiovasc Pharm col 2000; 36 (6) : 794 - 801)。通常の患者に対する典型的な投与量は、1日当たり 100 mg ~ 300 mg であるが、ペルヘキシリソ代謝が遅い患者には、より少ない投与量が適当であろう。